

#2 からだの一とからだの機能(国際華語特別集會:からだの原則を守ることによって、キリストのからだの実際の中で生きる) 2019/6/2-8

I. キリストのからだは、宇宙的に唯一無二です: エペソ 2:16 また十字架を通して、両者をつからだの中で神に和解させるためでした。それによって敵意を殺してしまったのです。**A.** 主の回復は、キリストのからだの一の回復です:**1.** からだは、一の中でのみ存在し、また存在し続けることができます。**2.** 主の負担は、キリストのからだの一を回復することです。**3.** この一の実行は失われてきましたが、私たちはこの一を回復するという主の心を満足させることを願っています。**B.** キリストのからだの唯一の一は、「その霊の一」です:**1.** その霊はキリストのからだの本質です。ですから、その霊はキリストのからだの一の実際です。**2.** キリストにある信者たちが命の霊によって、命であるキリストをもって再生された時に、この一は彼らの霊の中へと分け与えられました。**3.** 私たちは、造り変えられた人性の美德をもって、平和の結合するきずなの中で、その霊の一を保つ必要があります。エペソ 4:3 平和の結合するきずなの中で、その霊の一を保つことを熱心に努めなさい。**4.** 地方召会の立場は、キリストのからだの唯一の一、すなわち、その霊の一です。**5.** すべての地方召会は、キリストのからだの唯一の一の中に保たれる必要があります。**II**
C. からだの真の一は、手順を経て究極的に完成された三一の神です。この方は、ご自身を信者たちとミングリングします:エペソ 4:4-6 一つからだ一つ霊、それはあなたがたも、あなたがたの召しの一つ望みの中で召されたようにです。一つ主、一つ信仰、一つバプテスマ。すべてのものの神また父は一つ、この方はすべての上に、すべてを貫き、すべての中におられるのです。**1.** 手順を経て究極的に完成された三一の神はご自身を、彼の選ばれ贖われた人の人性とミングリングします。そしてこのミングリングが、キリストのからだの真の一です。**2.** からだはそのようなミングリングですから、からだ自身が一です。**D.** キリストのからだの一は、神聖な三一の一です。ですから、キリストのからだの一は、神聖な三一の拡大された一です。ヨハネ 17:21 それは、彼らがすべて一となるためです。父よ、あなたが私の中におられ、私があなたの中にいるように、彼らも私たちの中にいるためであり、あなたが私を遣わされたことを、世の人が信じるためです。**火**
E. 私たちは召会ですが、キリストのからだとなるのは、組織化されることによってではなく、私たちの中の一である三一の神をもって生かされ、再生され、生き生きとさせられることによってです。エペソ 2:4-5 しかし、あわれみに富んでおられる神は、私たちが違犯の中で死んでいた時、私たちがキリストと共に生かし(あなたがたが救われたのは、恵みによるのです)、**F.** すべての地方召会は、宇宙的にも、教理的にも、実際的にも、一つからだであり、また一つからだであるべきです。**G.** プレンディングは、宇宙的なキリストのからだの一を保つのに最も助けになる事です。I コリント 12:24 ところが、私たちの美しい肢体には、その必要はありません。神は欠けている肢体にさらに豊かな尊さを与えて、体を調和させられました。**H.** 一を保つことは、私たちのクリスチャンの歩みの主要な美德です。**I.** すべての信者は、霊なるキリストと究極的に完成された霊という、神聖で奥義的な領域の中にいるべきであり、三一の神とミングリングされて一を保つべきです。**水**
II. からだの機能は、キリストを表現することです:
A. 宇宙的に大いなるキリストは、彼の豊満、すなわち彼の表現となるからだを必要とします:エペソ 1:22-23 また神

は、万物をキリストの足の下に服従させ、そして彼を万物の上にかしらとして召会に与えられました。この召会は、キリストのからだであり、すべての中ですべてを満たしている方の豊満です。**1.** キリストの豊満は、キリストの豊満を享受することから出てきます。エペソ 3:8 すべての聖徒のうちで最も小さい者よりも小さい私に、この恵みが与えられたのは、キリストの計り知れない豊満を、異邦人に福音として宣べ伝えるためであり。**2.** 私たちはキリストの豊満を享受することを通して、彼の豊満となって、彼を表現します:**a.** キリストの豊満は、私たちによって経験されて、私たちの中へと構成し込まれたキリストです。**b.** 客観的な豊満は主観的な豊満となります。そしてこの豊満がキリストのからだです。**B.** キリストのからだは、地上におけるキリストの拡張と継続です。**木**
C. 私たち信者がキリストのからだの中で互いに肢体であることの目的は、私たちが共にキリストを生き表現することです。ローマ 12:5 私たちも数は多いのですが、キリストの中で一つからだであり、そして各自は互いに肢体なのです。**D.** キリストのからだはキリストです。私たちがからだの中にいようとするなら、私たちはキリストとされなければなりません:コロサイ 3:10-11 新しい人を着たのです。その新しい人は、それを創造された方のかたちにしたがって全き知識へと至るように、新しくされつつあるのです。その新しい人には、ギリシャ人とユダヤ人、割礼と無割礼、未開人、スクテヤ人、奴隷、自由人はあり得ません。キリストがすべてであり、すべての中におられるのです。**1.** 私たちはキリストの中で一つからだであり、キリストとの有機的な結合を持っています。**2.** からだの中で、キリストはすべてであり、すべての中におられます。**3.** キリストのからだとしての召会は、キリストから出て来るのであり、またキリストと一です。**4.** 信者の中には、キリストのからだの一部を形成するただ一つのものがあります。それはキリストです。**5.** 神は私たちがキリストで構成しつつあります。それによって私たちは、実際においても実行においてもキリストのからだとなることができます。**金**
E. キリストのからだは団体のキリストです:I コリント 12:12-13 それは、体が一つであっても多くの肢体があり、体のすべての肢体が多くあっても一つの体であるように、(あの)キリストも同様だからです。なぜなら、私たちはユダヤ人もギリシャ人も、奴隷も自由人も、みな一つ霊の中で、一つからだの中へとバプテスマされ、みな一つ霊を飲むようにされたからです。**1.** 12 節の「あのキリスト」(直訳)は、個人のキリストではなく、団体のキリスト、すなわち、からだ・キリストを指しています。**2.** 団体のキリストは、かしらとしてのキリストご自身と、彼の肢体であるすべての信者を伴う彼のからだとしての召会とから成っています。**3.** キリストにあるすべての信者は、彼と有機的に結合されており、彼の命と要素をもって構成されており、こうして彼のからだ、有機体となっており、彼を表現します。ですから、キリストはかしらであるだけでなく、からだでもあります。**4.** 聖書は、キリストと召会を一人の奥義的なキリストと見ます。すなわち、キリストは、この奥義的なキリストのかしらであり、召会は、この奥義的なキリストのからだです。**土**
Crucial Point①:キリストのからだの一は、その霊の一である。諸召会のプレディングはからだの一を保つ
OL1:キリストのからだの唯一の一は、「その霊の一」です。すべての地方召会は、キリストのからだの唯一の一の中に保たれる必要があります。**OL2:**からだの真の一は、手順を経て究極的に完成された三一の神です。この方は、ご自身を信者たちとミングリングします。
三一の神と贖われた人性とのミングリングである真の

一には、三つの面があります(詩補 18)。第一の面は、彼の神聖な命による、御父の御名の中での一です。第二の面は、彼の聖別する言葉による、三一の神の中での一です。第一の面は一の源と要素に関してであり、第二の面は、一の立場に関してです。もしこの世の中にいて、サタンの手の下にいるのであれば、私たちは一を実行することはできません。一を実行するためには、この世から分離され、サタンの手から離れていなければなりません。

真の一の第三の面は、神聖な栄光の中のキリストにある信者たちの一です。…神の栄光とは、彼を表現するための彼の神聖な命と彼の神聖な性質です。もし御父の命と御父の性質を持っていないのであれば、私たちが御父を表現するのは不可能なことです。御父の表現は、御父の命と御父の性質から来ます。御父のこの表現は栄光です。私たちは自分自身を表現するために、どんな行動も取らず、何事も行なわないというのでなければなりません。…これは栄光であり、この栄光の中で私たちすべては一です。

OL3: プレンディングは、宇宙的なキリストのからだの一を保つのに最も助けになる事です。**OL4:** 一を保つことは、私たちのクリスチャンの歩みの主要な美徳です。

私たちの間には、キリストのからだのすべての個々の肢体のプレディング、ある地域におけるすべての召会のプレディング、すべての同労者のプレディング、すべての長老のプレディングがあるべきです。プレディングは、私たちが常に止まって人と交わるべきであることを意味します。…もし私たちが自分を孤立させ、隔離させるなら、多くの霊的な益を失うでしょう。交わることを学んでください。プレディングされることを学んでください。今後、諸召会はしばしば共に集まって、プレディングされるべきです。私たちはそれに慣れていないかもしれませんが、プレディングを数回、実行し始めた後、その味わいを得るでしょう。プレディングは、宇宙的なキリストのからだの一を保つのに最も助けになる事です。

適用: 青年在職、大学院生編

サタンの原則は分けること、分裂です。しかし私たちの神は三一の神であり、神を享受することの結果は一です。信者は全世界の五大大陸に広がっていますが、召会、キリストのからだはその霊の一を保ちます。キリストのからだの一が保たれるとき、神はそのような召会生活を大いに祝福することができます。

キリストのからだの一を保つために、**(1)** その霊の一がキリストのからだの一です。あなたは自分の霊を活用し、その霊に触れ、その霊で満たされるべきです。**(2)** 三一の神、父、子、霊は一です。三一の神の究極的完成はその霊ですので、その霊にあずかることで三一の神が一であるように私たちも一になることができます。**ヨハネ 17:22** **あなたが私に与えてくださった栄光を、私は彼らに与えました。それは、私たちが一であるように、彼らも一となるためです。** **(3)** 信者たち、諸召会は互いにプレディングされるべきです。プレディングされればされるほど、あなたはキリストのからだの一の中に保たれます。そしてこの一の中で様々な霊的な祝福にあずかることができます。キリストのからだの個々の肢体のプレディング、責任者のプレディング、近隣の諸召会の責任者のプレディングなど各種のプレディングがあればあるほど、一は保たれるようになります。**(4)** また一を保つために、謙虚、柔和、辛抱強さ、愛、互いに担うことなどの造り変えられた人性の美徳が必要です。**エペソ 4:2** **謙虚と柔和を尽くし、辛抱強さをもって、愛の中で互いに担い合いつつ、3 平和の結合するきずなの中で、その霊の一を保つことを熱心に努めなさい。4 一つからだ一つ霊、**

会社などの組織はキリストのからだとは異なりますが、一を保つための造り変えられた人性の美徳を持てば、それは会社の組織やグループを一つにまとめて前進させることに役立ちます。組織が一つになることで、相乗効果が期待できるので、あなたは強く、生産性の高い組織を建て上げることができます。ですから召会生活の中で一を保つことができる人は、世の中でも最も必要とされる人材になることができます。会社で最も必要とされる人材は、その領域の専門家であると同時に、専門家の人々を一つにまとめて強い組織を作ることのできるリーダーです。あなたは召会生活とビジネス・ライフにおいて、Win-Win の生活を送ってください。

祈り: 「おお主イエスよ、キリストのからだの一を保つために、自分の霊を活用します。三一の神の究極的完成であるその霊を享受し、その霊で満たされますように。三一の神と私たちのミングリングがなければ、からだの一は存在し得ません。同時に私たちは近隣の諸召会とプレディングされる必要があります。プレディングは私たちがからだの一の中に保ちます。また私は一を保つために造り変えられた人性の美徳が必要です。主よ、からだの一の中で諸召会を祝福してください。アーメン！」

Crucial Point②: 召会生活の最も重要な基本はキリストを享受することである。からだの組み合わせられた生活の中で、継続的に、安定して、さらに豊かにキリストを享受し続ける **OL1:** 私たちはキリストの豊富を享受することを通して、彼の豊満となって、彼を表現します。

エペソ 1 章と 4 章が両方とも豊満について述べているのに対し、3 章はキリストの豊富について述べています。キリストの豊富とキリストの豊満との違いは何でしょうか？ あなたがここに食べ物を山積みにしても、それは豊満と呼ばれるのではなく、豊富と呼ばれます。しかしながら、いったんあなたがこれらの豊富を一つ一つ食べて消化すると、それらはあなたの細胞となり、あなたの体の要素となります。その結果、あなたの体は、あなたが食べて消化したもので構成されます。この構成された体が豊満です。キリストの豊富は無制限で、限りがなく、計り知れませんが、あなたはなおもキリストのこれらの豊富を食べて吸収する必要があります。あなたはキリストを食べれば食べるほど、またキリストがあなたの中へと吸収されればされるほど、豊満の要素をますます得ます。**OL2:** 私たち信者がキリストのからだの中で互いに肢体であることの目的は、私たちが共にキリストを生き表現することです。

新約によれば、私たち信者のうち、だれ一人としてからだから離れて単独で生き、働くことのできる人はいません。私たちの生活と働きは、すべてキリストのからだの中になければなりません。キリストのからだの肢体として、私たちは別々ではなく、各自は完全な単位ではありません。むしろ、私たちは全体の多くの部分となるために、共に組み合わせられるべきです。主が求めておられるのは、個々の肢体でなく、からだ全体です。しかしながら、大半のクリスチャンは…主を愛し、主を畏れて、他の人を救いにもたらずために福音を宣べ伝える限り、それで問題はないと考えます。しかし、主のからだの表現に関する限り、これは全く良くありません。

適用: 青少年、大学生編

召会生活の基本的な要求は、主を享受することです。主の豊富を享受しなければ、主の豊満である召会はありません。地方召会は兄弟姉妹を助けて、主を享受する生活にもたらず必要があります。例えば、祈りの集会で最初に行くことは、召会の負担に関連した御言葉やアウトラインを祈り読みして主を享受することです。主を享受

した後、あなたの霊は増強され、豊かにされるので、あなたは霊の中で実際的な必要について祈ることができます。しかし主を享受せず、実際的な事柄を祈り始めると、容易に思いの中に落ち込んでしまい、祈りの中で神に触れることができません。ですから祈りの集会の秘訣は、まず主を享受して、その後、主で満たされて霊の中で必要について祈ることです。この原則は、福音を伝えることにおいても同じです。リー兄弟は福音を伝える秘訣はまず御言葉を30分間祈り読みして主を享受することであるとされました。この基本的で重要な原則はあなたのクリスチャン生活のあらゆる面に適応されるべきです。

また、あなたが主を享受し続けるために、必ずからだの生活を実行してください。からだの他の肢体のために祈り、また他の肢体にあなたのために祈ってもらう必要があります。からだの生活は相互性の中で現れ出ます。からだのそれぞれの肢体が互いに依存しあって正しく機能するように、あなたは自分をからだの生活の中に置き、相互性の中で供給され、供給することを学んでください。

例えば、試験などのプレッシャーで弱くなっている時、あなたのパートナーである兄弟姉妹や、あなたを指導している兄弟姉妹にそのことを伝え、祈っていただき、支えられることを経験してください。別の人は、学校での人間関係に悩んでいるかもしれません。あなたはからだの他の肢体に開いて、その状況を分かり易く伝え、祈っていただく必要があります。日本人は、「他人を煩わせてはいけない」という文化的な観念が強いので、人に開くことが困難です。しかしあなたは神の家族のメンバー、キリストのからだの肢体であるので、適切に開いて交わることを学んでください。パウロはあなたの模範であり、彼は聖徒たちが彼のために祈ることを求めていました。**ピリピ 1:19** というのは、あなたがたの祈り求めることと、イエス・キリストの霊の満ちあふれる供給を通して、このことが私にとって救いとなることを知っているからです。FN「あなたがたの祈り求めること」：これはキリストのからだ、召会の供給です。入獄はパウロをキリストのからだから隔離したり、からだの供給から断ち切ったりはしませんでした。**エペソ 6:20** この福音のために、私は鎖につながれている大使ですが、鎖につながれていても、語るべきときには大胆に語れるよう、祈ってください。

また、箴言 11:25 は「祝福する魂は栄え、人を潤す者は自分も潤される」と言っています。あなたは他の肢体や6種類の新人の必要のために祈ってください。そうすれば、あなたは祝福され、潤されます。あなたは召会生活の中で供給され、供給する相互性のある生活を送ってください。

あなたはキリストのからだの一肢体なので、決して単独のクリスチャン生活ではなく、共に組み合わせられる生活をすべきです。キリストのからだの生活は集会の時だけではなく、あなたの生活と働きのすべてがキリストのからだの中でなければなりません。主があなたの目を開き、あなたがからだの中で大いに祝福され、からだの他の肢体を支えることができますように。

祈り：「おお主イエスよ、召会生活の中で主の豊かさを享受します。私の必要を祈ってもらうために、パートナーや、導く兄弟姉妹に開くことができますように。また6種類の新人のためにも祈ります。キリストのからだの相互性の中で供給し合う生活を実行します。私はからだの一を保ち、からだの肢体としての機能を発揮し、からだを建造します」。

高い福音 第11課 信仰を通して命を得る(下)

ヨハネ 3:16 神はそのひとり子を賜わったほどに、世の人を愛された。それは、彼の中へと信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を持つためである。

信仰によって：かつて一人の友人が私に聞きました、「二一兄弟、私は本当に神の子を私の生活の中に受け入れたいのです。私は神に祈りました。そして私はキリストを私の中に持ちたいと彼に告げました。私はキリストが私の中に入り込むとき、内側に燃える感覚を持つだろうと聞いていました。しかし私がひざまずいた時、私の心は岩のように冷たかったのです。祈った後、何も変わったとは感じませんでした。実際に神の御子を命として私の中へと受け入れたかどうかを、どのようにして知るのでしょうか?」。私は言いました、「聖書は決して、人が御子を受け入れた時に燃えるように感じるとか、冷たいままであるとは告げませんでした。聖書が言っているすべては信じることです。それは信仰によります。感覚にはよりません。もしあなたがあなたの感覚により頼むのでしたら、あなたは神の言葉を信じているのではありません。あなたは神を偽り者に行っているのです! 神が与えたと言われた時には、それは与えられているのです。それはあなたの感覚とは何の関係もありません」。

感覚は信仰に従う：ある年、私は煙台にいました。一人の兄弟が私に告げました、「私は神の御子が私の命であると信じました。しかし私はそれについていっこうに栄光ある感覚を持たないのです。私は本当に彼を受けたのでしょうか?」。私は一つのたとえを彼に語りました、「三人の人が狭い堀(へい)の上を歩いていました。先頭を歩く人はキリストが私たちの命である事実を代表します。真ん中の人は私たちの信仰を象徴します。それは始終、神の成就された事実に従っています。最後の人は私たちの栄光の感覚を代表します。この感覚は人が信じた後に来ます。それは三つの項目の最後のものです。三人が堀の上を歩くと、真ん中の者はただ前方を見ることができるだけです。私たちの信仰は、私たちが神の成就されたみわざをしっかりと注目するとき存在するようになります。神はすでに私たちに御子を与えて私たちの命とされました。私たちがこの事実を見るとき、私たちは信仰を持ちます。第二は常に第一に続きます。信仰の後に栄光の感覚が来ます。第三の人が見ることでできる一切は第二の人です。ところがもし第二が振り向いて第三の人を見ようとするなら、彼はたちまち堀から落ちるでしょう。事実の上にはっきり定着していない信仰は動揺する信仰です。第二の人が落ちるや否や、第三の人も落ちるほかありません。すべての栄光の感覚はその時、失われるでしょう。こういうわけで栄光の感覚を求めて後ろを振り向いてはなりません。ひたすら事実に従いなさい」。

今や神はキリストの中であらゆることを成就されました。彼は死なれました。また復活されました。そして聖霊へと変化されました。彼は今やあなたの中へと入って来る用意ができています。あなたの必要とする一切は、信じることです。もし神がこれらのみわざを一切なし終えなかったとしたら、たとえあなたが晴れやかで、高揚感を感じたとしてもそれは何の意味もありません。

キリストが私たちの中に入ってこられて、私たちの命となれると、その後あらゆる方面で著しい変化が起こるでしょう。この変化は律法の制限、道徳の教育、または改善の訓練によっては決して成し得ないものです。私はキリストを命として受け入れてから、極めて邪悪だった罪人が大変化したのを30人から40人も直ちに思い浮かべることができます。キリストを受け入れて以来、この目ざましい変化を証しすることができる他のクリスチャンもまた実に何百何千といえるのです。そしてその変化は訓練や克服によってではなく、私たちの中に働いておられるキリストのこの驚くべき力ある命によって開始されているのです。

詩歌 補充本18

1. ちちはいのちの源泉、
ちちの御名のなか、
なれのいのちのなか、
なれのいのちのなか、
なれのいのちのなか、
 2. 何とかん謝すべきや、
なが性しつ浸透し、
みことばをとおして、
みことばをとおして、
 3. 三いちのかみの栄光！
何というしゆくふく、
なれの栄光のなかで、
なれの栄光のなかで、
- 子たちはなが表現。
なれはいのちの表現。
われらはすべていち。
ちちよ、われらはいち。
神せいなみことば、
この世から分離する。
われらはすべていち。
われらはいちとなる。
われらかみの子ら。
えい光をひょう現する。
われらはすべていち。
われらはいちとなる。

English 1081

1. Father God, Thou art the source of life.
We, Thy sons, are Thine expression;
In Thy name, our dear possession.
Father God, Thou art the source of life.
In Thy life, in Thy life, We have oneness in Thy life.
In Thy life, in Thy life, In Thy life, O Father, we are one.
2. How we thank Thee that Thy holy Word
With Thy nature, saturates us;
From the world it separates us.
Thank Thee, Father, for Thy holy Word.
Through Thy Word, through Thy Word,
We have oneness through Thy Word.
Through Thy Word, through Thy Word,
Through Thy holy Word we're all made one.
3. Oh, the glory of the Triune God!
We're His sons, oh, what a blessing!
We His glory are expressing —
Oh, the glory of the Triune God!
In Thy glory, in Thy glory,
In Thy glory we are one.
In Thy glory, in Thy glory,
In Thy glory we are all made one!

中補 620

1. 讚美父神是生命源头，我们在你宝贵名里，
作你眾子来彰显你。讚美父神是生命源头。
在生命里，在生命里，在父生命里我们是一。
在生命里，在生命里，在父生命里我们是一。
2. 感谢父藉你宝贵圣言，用你性情浸透我们，
分别我们脱离俗尘。感谢父赐你宝贵圣言。
藉你圣言，藉你圣言，藉你圣言我们成为一。
藉你圣言，藉你圣言，藉你圣言我们成为一。
3. 哦，三一神的神圣荣耀！眾子得享何等福分！
神的荣耀彰显无尽一。哦三一神的神圣荣耀！
在荣耀里，在荣耀里，在你荣耀里我们是一。
在荣耀里，在荣耀里，在荣耀里我们成为一。

詩歌 補充本607(1-4)

1. つみにて死んでいて、この世で調和なし。
かみはわれら生かし、復かつさせ天に座らす。
(復)イエスは集められた！かん全にいちとなる！
主のあいはいちへと、主の豊満へといたらせる。
2. すべての聖徒たちと、主の大きさを得て、
超えつしたあい知り、かみの豊まんへといたる。
3. さだめられた御むね、おく義われら知る。
キリスト、召かいを見て、ともにてきはずかしめる。
4. 主よ、うちなるひとへわれをぞうきょうし
うちにホームをつくり、愛に根ざし土だいづけよ。

English 1232

1. Once by nature we were dead in sin,
In a world of utter discord;
But together God has quickened us,
Raised us up to sit together with the Lord.
C) Jesus is getting us together,
Come and see the saints in one accord.
His love is knitting us together,
To the stature of the fullness of the Lord.
2. Thus with all saints we can apprehend,
All the vast dimensions of God.
Knowing Christ's love passes all we know.
We're together filled to fullness with our God.
3. Now we know the purpose of our God,
Visible the mystery became:
Christ, the church, together now we see,
And together put the enemy to shame.
4. For this cause we pray the Father God —
Strengthen Thou with might our inner man;
Make Yourself at home in all our hearts,
Root us, ground us in Your love and for Your plan.

中補616

1. 从前我们在罪中死了，这世界全然一团糟；
但神使我们一起復活，一起与基督升天，同坐宝座。
(副)耶穌聚集我们在一起，请看看圣徒同心合意！
主爱使得我们都一致，达到基督丰满身量的地步。
2. 因此我们能和眾圣徒，一起明白基督的爱；
长阔高深虽然无法测度，但神的丰满我们一再得著。
3. 神在歷代隱藏的旨意，已成了显明的奥秘；
基督，召会，我们今看见 这真叫撒但受辱，羞惭满面！
4. 我们为此来祷告父神—刚强我们里面的人，
让你安家在我们心里，使我们在你爱中生根立基。